

「大学体育スポーツ学研究」投稿規定

- 1. 本誌の名称：** 本誌の名称を、「大学体育スポーツ学研究 (Japanese Journal of Physical Education and Sport for Higher Education)」とする。本誌は、公益社団法人^{*1}全国大学体育連合（以下「この法人」という）が2004年～2018年に刊行した「大学体育学」を引き継ぐものである。
^{*1}：2011年12月までは社団法人全国大学体育連合。
- 2. 本誌の目的：** 本誌は、高等教育機関で行われる体育およびスポーツ（以下「大学体育スポーツ」という）における教育活動の発展を目的に、この法人が発行する学術雑誌である。競技力向上に関する基礎科学的な研究は、本誌の範疇に含まれない。
- 3. 投稿資格：** 本誌には、この法人の会員と非会員を問わず、論文を投稿することができる。ただし、投稿料および掲載料については、19項に定めるとおりとする。本誌編集委員会（以下「本委員会」という）は、論文投稿を依頼することができる。
- 4. 投稿可能な原稿：** 投稿論文は完結した未発表のものであり、他誌へ投稿中でないものに限る。ただし、学会発表抄録や科研費等の研究報告書の内容を充実させた論文、各種研究助成金の交付を受けた研究をまとめた論文、発表済みの結果であっても新たな観点から再考察した論文は、投稿することができる。
- 5. 投稿論文の種類：** 表1のとおりとする。
- 6. 原稿の書式：** 原稿は、図表も含めて1つのWordファイルにまとめたものとそのPDFファイルの両方で提出することとする。書式はA4版縦置き・横書きで全角40字×30行、余白は上下左右35mm、フォントは明朝体10.5ポイント、英数字はすべて半角とする。表紙、抄録、本文までの通し頁番号を各頁のフッター中央部に、各頁にも1から始まる行番号を左余白に、それぞれ付すものとする。
- 7. 原稿の使用言語：** 投稿原稿における使用言語は、日本語または英語とする。
- 8. 原稿の構成：** 表2のとおりとする。
- 9. 抄録：** 和文論文には英文抄録を、英文論文には日本語抄録をつける。抄録はネイティブ・スピーカーのチェックを受けたものとする。
- 10. 文献リストおよび本文中での文献記載：** 文献リストは、著者名のアルファベット順に並べ、本文の後に一括する。雑誌名は和洋ともに略記しない。文献リストおよび本文中の文献記載方法は、一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会発行の「体育学研究」投稿の手引き（最新版）を参照する。
- 11. 研究参加者の取り扱い：** 人を対象とする研究遂行に際して、研究対象者の人権尊重や社会的影響等について配慮した点を論文中に明記する。研究倫理については、一般社団法人日本体育学会研究倫理綱領（最新版）を参照する。
- 12. 投稿原稿返却の例：** 以上2～11に従わない原稿（本誌の目的に沿わないもの、書式に著しい不備のあるもの）や水準の著しく低い原稿については、本委員会の判断により、審査を行わない場合がある。
- 13. 投稿原稿の提出方法：** 原稿は、この法人の事務局 (info@daitairen.or.jp) 宛てに、件名を【大学体育スポーツ学研究への投稿論文】としたEメールの添付書類として投稿する。その際、以下8項目【(1) 著者名 (和英、著者全員)、(2) 所属機関名 (和英、著者全員)、(3) 代表著者の氏名・電話番号・e-mail アドレス、(4) 表題、(5) ランニングタイトル、(6) 論文の種類、(7) 和文抄録、(8) 和文キーワード】をEメール本文として同時に送信する。また、本連合ホームページに掲載されている「投稿時チェックリスト」へ必要事項を記入のうえ、添付書類とあわせて提出する。

表1 投稿論文の種類、内容、制限頁数

論文の種類	内容	制限頁数 ^{*2}
総説 Review	大学体育スポーツに関する特定の内容や主題について、関連文献や資料に基づいて総括的に論評した論文	12頁
原著 Original Research	大学体育スポーツの発展に寄与しうる研究論文で、高い独創性と学術性を備えたもの	10頁
研究ノート Research Note	原著に求められる独創性と学術性の水準に満たないものの、大学体育スポーツの発展に寄与しうる知見や取組等をまとめた報告や資料	8頁
フォーラム報告 Forum Report	大学体育スポーツ研究フォーラムで発表した内容（一般発表、ラウンドテーブル、ワークショップ、特別講演など）の抄録	1頁
その他 Miscellaneous	編集委員会からの依頼原稿や、他国の言語で掲載された論文の二次出版論文など	特に定めない

^{*2}：図表等を含めた刷り上がり頁数（文字のみの場合の1頁は約2,300字）

表2 投稿原稿の構成と順序

項目	内容
表紙	表題 ランニングタイトル
論文の種類	表1から適切なものを選択
図表の数	図と表それぞれの数を記載
文字数	本文、文献、注の合計文字数
抄録とキーワード	200-300語の英文抄録（改行なし）と500-700字の和訳文、和英3-5語のキーワード 英文抄録は受理が決定した後に提出することも可
本文	（「原著 Original Research」は以下の構成で、他の種類の原稿はこれに準じた形式で、それぞれ執筆する）
緒言	先行研究との関連から、研究の目的と必要性を述べる。「問題と目的」「はじめに」なども可
方法	研究の妥当性・信頼性の評価ができるように、研究方法を具体的に述べる
結果	目的と方法に沿って得られた結果を要約し、考察や結論の論拠を示す
考察	結果の評価と解釈を述べる
結論	省略可、「まとめ」「要約」なども可
注	必要な場合は記載する
付記、謝辞	論文受理後に追記する
文献	「10. 文献リスト」に従い、著者名のアルファベット順に一括する
図表	フォントは明朝体とする。本文頁の右横の空白に、図表等の挿入箇所を指示する 表の罫線は必要な横罫線だけに留め、縦罫線は使用しない。縦罫線のかわりに十分な空白を置く

14. 投稿論文の受付： 論文投稿は随時受け付ける。投稿後、審査を経て論文掲載可（受理）となるまでは、通常、最低3ヶ月を要する。

15. 再提出の期限： 本委員会より訂正を求められた投稿原稿の再提出期限は、訂正通知日から原則28日以内とする。また、再々提出期限は、訂正通知日から原則14日以内とする。なお、特別な事情なくして提出の期限を1ヶ月以上超えた場合は新規投稿原稿として審査を行う。

16. 投稿論文の採否： 本誌編集委員会（以下「本委員会」という）が投稿論文の採否、加除訂正の要求、校正（著者校正は最大2回）などを行い、著者へ連絡する。投稿論文は、査読意見に基づき掲載の採否を決定する。査読の制限回数を原則3回までとする。

17. 論文受理証明書の発行： 本委員会により掲載承認された受理論文については、著者の希望により論文受理証明書の発行を行う。

18. 論文公刊の時期： 原則として1月末までに掲載承認された受理論文は、同年3月にこの法人のホームページおよびJ-STAGE上でPDFファイルとして公開される。なお、論文掲載可となった論文原稿は、版組完了後、本連合ホームページ等に早期公開論文として掲載される。

19. 投稿料および掲載料： 著者全員がこの法人の会員の場合は、投稿料・掲載料ともに無料とする。著者に非会員が含まれる場合は論文1編につき1万円の投稿料を、掲載料については刷り上がり1頁あたり3千円を、投稿者が負担する。表1に示す制限頁数超過の場

合は、会員・非会員を問わず、1頁につき3千円を投稿者が負担する。なお、本誌では、会員校の大学院生を会員と同様の扱いとする。

20. 論文の著作権： 本誌に掲載された論文の著作権の一切（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）は、この法人に帰属または譲渡されるものとする。ただし、論文の内容に関する責任は当該論文の著者が負う。

21. 各大学等の機関リポジトリコンテンツ登録に係る著作権： 本誌掲載論文を著者の所属する大学等の機関リポジトリへ登録するために、本誌では著作権のうち複製権および公衆送信権の行使を各機関（の附属図書館）に対して認める。

22. 本規定の改廃： 常務理事会にて行う。

附 則

本規定は、平成15年6月14日より適用する。
本規定は、平成18年4月1日より適用する。
本規定は、平成20年9月19日より適用する。
本規定は、平成24年2月6日より適用する。
本規定は、平成25年7月26日より適用する。
本規定は、平成27年5月29日より適用する。
本規定は、平成29年2月21日より適用する。
本規定は、平成30年5月18日より適用する。
本規定は、平成31年2月7日より適用する。
本規定は、令和3年2月9日より適用する。
本規定は、令和4年2月10日より適用する。

「大学体育スポーツ学研究」投稿時チェックリスト

(2020年4月1日策定, 2021年3月31日改訂, 2022年2月10日改訂
2023年3月10日改訂, 2024年3月10日改訂, 2026年3月10日改訂)

投稿時は以下の□にチェックを入れ、記名の上、原稿と合わせてご提出ください。

< 投稿にあたって >

- 投稿論文は、高等教育機関での体育およびスポーツにおける教育活動の発展を目的とした内容である。
- 投稿論文は、基礎科学的な論の展開に終始する研究には該当しない。
- 投稿時点で、著者全員が公益社団法人全国大学体育連合（以下、この法人）の会員である。
 - 非会員が含まれる場合、投稿論文1編につき1万円の投稿料を納入した。
納入方法は、この法人事務局（info@daitairen.or.jp）にお問い合わせください。すでに会員であるにも関わらず投稿料を誤って入金した場合や、投稿料不要の会員校大学院生が投稿料を誤って入金した場合、返金いたしませんのでご注意ください。
- 投稿論文は完結した未発表の内容で、本誌や他誌に掲載済や印刷中もしくは他誌へ投稿中ではない。
- 原稿提出にあたり、図表も含めた Word ファイルとその PDF ファイルの両方を準備した。
- Eメールによる原稿提出方法（件名、著者名等の8項目、宛先）を確認した。
- 投稿者名や所属先等が判明しないよう、本文や図表等をイニシャル等（記載例：A大学の倫理）でブラインドした。
- 投稿論文は、上限頁数を超過していないことを確認した。

「表紙」は、以下のとおり記載した。

- 25字以内のランニングタイトルを記載した。
- 投稿規定を確認し、適切な論文の種類を記載した。
- 図と表それぞれの数および本文、文献、注の合計文字数（スペース含む）を記載した。
- 500～700字の英文抄録の和訳文を作成した（英文抄録は受理が決定した後に、ネイティブ・スピーカーによる英文校正証明書を添えて提出する）。
- 和英3～5語のキーワード（表題と重複しない語）を記載した。
- 表紙～本文までの通し頁番号を各頁のフッター中央部に記載した。

「本文」は、以下のとおり記載した。

- A4版縦置き・横書きで全角40字×30行、余白は上下左右35mmとした。
- 日本語フォントは明朝体（英数字フォントはCentury）とし、10.5ptの文字サイズとした。
- 句読点は「、」と「.」にした。
- 図表も上記と同様のフォントで作成し、本文頁の右側余白に図表等の挿入箇所を指示した。
- 表の罫線は必要な横罫線だけに留め、縦罫線は使用せずに作成した。
- 図表（タイトル中央配置）は直ちに印刷できるよう、適度な大きさと、モノクロで鮮明に作成した。
- 図表のタイトルにはピリオドを挿入していない（例：図1 ○○○○の結果）。
- 研究対象者の不利益や人権尊重等の倫理的に配慮した点を本文中に明記した。大学の研究倫理委員会等の承認を得ている場合は、その委員会名、承認番号を明記した。
- 投稿規定に従って、文献リスト（著者名のアルファベット順；雑誌名は略記しない等）と本文中の文献を記載した。
- 統計的概念の記号（ M, SD, n, t 等）はイタリック体にした。
- 各頁には、1から始まる行番号を左余白に記載した。

< その他 >

- 掲載承認された場合、この法人のHPへの早期公開およびJ-STAGEへの公開を承認した。

上記の点および投稿規定をすべて確認し、投稿原稿を作成しました。

西暦_____年____月____日

氏名：_____